

請 願 第 1 0 号	平成27年2月24日受理
付 託 委 員 会	福祉常任委員会
件 名	国保料の大幅引き上げに反対する件
紹 介 議 員	植 田 進 議員 伊 原 忠 議員
請 願 要 旨	<p>八千代市は、来年度の国民健康保険料を引き上げる「条例改定案」を3月議会に上程しようとしています。</p> <p>65歳以上2人世帯年収220万円の方（2割軽減対象）で、一世帯年額1万4,000円を超える大幅引き上げです。その上、介護保険料が基準額で1人年額1万2,000円引き上げられると聞いています。</p> <p>相次ぐ年金引き下げ、消費税引き上げに暮らしを脅かされる高齢者にとって、これ以上の負担は耐えがたく、さきに提出した4,028筆の「反対署名」を顧みない秋葉市長に対し、「公約違反ではないか」の声が高まっています。</p> <p>保険料が高い一番の原因は、国が法律で定めている「負担金」を年々減らしてきたことにあります。そのため八千代市では、この6年間、必要な「財源補填金」を繰り入れ「国保料据え置き」を実施してきました。</p> <p>国民健康保険事業は、社会保障制度として大切な役割を果たしている「国民皆保険」の大黒柱です。国は国保事業の「広域化」を前提に来年度1,700億円の財政支援を行う方針ですが、その額は全国市町村の「赤字補填額」3,500億円（平成24年度）の半分に及びません。国が責任を果たさない中で、市民の福祉増進に責務を負う自治体の役割は重大です。</p> <p>箱物行政を改め、市民の福祉、高齢者・低所得者の命と健康を守る「秋葉市政の原点」に立ち返り、下記の事項を実現するため市議会として御尽力いただきたく、心から要望いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般会計からの繰り入れ金（財源補填分）を確保して国保料を引き上げないこと。 2. 国に対し、国庫支出金増額実施を緊急に要望すること。